

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-1
学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課地域教育推進室長 濱村 浩之 電話番号 0852-22-5738

事務事業の名称	教育魅力化推進事業	
目的	(1) 対象	離島・中山間地域の市町村に存する県立高等学校及び当該市町村
	(2) 意図	中山間地域・離島の県立高校と意欲ある市町村が一体となって実施する高校魅力化の取組を引き続き支援し、対象高校を順次拡大するとともに、中山間地域・離島において高校魅力化と一体的・系統的に小中学校から高校・特別支援学校までを貫いて「教育の魅力化」に取り組み市町村に対して活動費等を交付して財政支援する。
事業概要	(1) 高校魅力化活動費交付金 中山間地域・離島の市町村に設置されている県立高等学校と地域が一体となって実施する高等学校魅力化の取組を支援。	
	(2) 教育魅力化支援交付金 中山間地域・離島の市町村が高校魅力化に併せて小中学校等における「教育の魅力化」を一体的・系統的に進める場合、その取組を財政支援。	
	(3) 統括プロデューサー配置費交付金 中山間地域・離島における「教育の魅力化」の取組を総合調整し、地域の機運を醸成するため、市町村が配置する統括プロデューサーの経費を支援。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県立高校への県外からの入学者数	目標値	151.0	162.0	174.0	187.0	200.0	人
	式・定義	県立高校への県外からの入学者数	実績値	151.0	184.0	184.0	-	-	
			達成率	100.0	113.6	105.8	-	-	
2	指標名	県立高校生の意識調査「学校生活に関するアンケート」	目標値			35.0	38.0	40.0	%
	式・定義	「自分の住んでいる地域や島根県をよくするために何をすべきか考えたことがある」という設問に肯定的に回答した者の割合	実績値		32.6	30.4	-	-	
			達成率	-	-	86.9	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	100,856	168,245
うち一般財源(千円)	100,856	90,585

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・「高校魅力化活動費交付金」をH29年度は16校(うち1校は分校)の協議会に交付した。平成28年度以前から取り組んでいる8校では、うち3校で、推薦選抜において、地元中学校からの出願が増加した(3校合計H28:1人→H29:19人→H30:28人)。H30年度はさらに5校が加わり、計21校で取り組んでいる。
・「教育魅力化支援交付金」をH29年度は9市町村に交付した。校種の枠を超えた合同学習会・研修会の実施、教職員のICT機器での他県交流授業の実施、県外からの親子教育移住の実現などが図られた。H30年度はさらに2市町村が加わり、計11市町村が取り組んでいる。
・「統括プロデューサー配置費交付金」をH29年度は3市町村に交付した。小中高統一カリキュラムの策定委員会開催、子どもと地域の大人との対話の場の設定、人づくりプログラムの策定等が行われた。H30年度はさらに5市町村が加わり、計8市町村が取り組んでいる。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・目的意識を持った生徒が増加し、学校に活気が生じた。
(部活動や学校行事の活性化)
・県外入学者との交流を通じ地元生徒の変容が見られた。
(多様な価値観の共有、生徒同士の切磋琢磨、コミュニケーション力の向上、地元への肯定的感情や愛郷心、貢献意欲の高まり)
・周辺自治体(市部など)に学校の魅力化の認知が拡大した。
(地元外の県内中学校からの入学増)
・魅力化コーディネーターの活躍、魅力化推進チームの伴走により、各校と地域との連携が進んだ。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・魅力化事業と教科教育との関係性理解が学校内で十分でなく、「ふるさと教育」「明日しま事業」など既存事業との連携や整理ができていない
・地域協議会が十分に機能しておらず、小中高特と地域を包括する形の動きになっていない。
・コーディネーターの確保や育成が十分でなく、また職制の見通しが持たずコーディネーター自身の活動のモチベーションに影響している
・全国の地域留学取組校との差別化が認識できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・魅力化事業が県外生徒募集と同義であるような認識が教職員に残っている
・課題解決型学習や地域に開かれた教育課程が教科教育の充実に結びついていくという実感を得にくい
・魅力化事業の成果について、検証が十分でない
・各種学校と市町村の協議の持ち方が十分でない
・コーディネーターが地域おこし協力隊等の期限付きの任用である場合が多く、任期後の業務保障がない。
・島根県の取組の良さが全国に広がり、全国で地域留学の動きが拡大した。

③原因を解消するための「課題」

・魅力化事業、「教育の魅力化」について各校教職員や県教委各課の理解を深めること
・魅力化事業の取組による生徒の育ちが見取れるような仕組みをつくること
・地域協議会を機能させ、学校、地域が効果的に連携すること
・コーディネーターのキャリア形成を保障すること
・各校の魅力化・特色化を再構築し、さらにチーム島根として魅力化推進を行う体制づくりを進めること

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

「中山間地域・離島の高校の魅力化」から、県全体の小中学校・高校・特別支援学校を貫いた「教育の魅力化」へと魅力化事業は新たなステージを迎えている。今後も「教育の魅力化」の推進を図るため、地域の多様な主体が参画した協働体制づくりにより子どもの学力育成を支援する。また県教委各課、県庁他部局や民間団体などで構成された「教育魅力化推進チーム」を中心に議論を深め、以下の方策等に取り組む。

- ・魅力ある教育環境をつくるための協働体制構築を推進し、地域の核となる高校への機能強化を図る。
- ・事業を実施している13協議会に、「教育魅力化推進チーム」のメンバーを「魅力化への伴走者」として引き続き担当配置し、協議会の効果的な運営を支援する。
- ・地域協働により探究的な学びによる生徒の育成を図り、育ちを測定する方法を検討する。
- ・県内各会議や研修等の機会をとらえ、県教委各課が協働して「教育の魅力化」についての理解を各校に敷衍する。
- ・コーディネーターの養成、配置の方策について検討する。
- ・全国的な生徒募集を支援するほか、各校や島根の教育の魅力は何か、どう育てるかについて、各地域協議会等で検討できるよう支援する。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	教育魅力化推進事業
---------	-----------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	地元中学生の入学率	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	%
			取組目標値						
	式・定義	地元高校入学者数／ 地元中学校卒業生数×100	実績値	60.0	61.0	61.0			%
			達成率	85.8	87.2	87.2	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	